

児童発達支援キッズクラブコフジ

～保護者アンケート及び自己評価結果を受けて～

アンケート結果を踏まえた職員検討会

日時 平成31年3月20日 16時～18時

出席者 山本（管理者）、矢野（児発管）、高島保育士、宮本保育士、中嶋看護師

□ 保護者アンケートでのご意見・ご要望と改善目標

① 子どもの活動スペースが十分に確保されているか？

<意見・要望> 人数が増えてくると少し狭いのではないか。

【改善目標】 基準は満たしているが、児童数が増えると手狭になるのは事実である。曜日によって利用児童数に偏りがあるため、できる限り一日当たりの人数が均等に近づけられるように配慮することで是正していきたい。

② 職員の配置数や専門性は適切であるか？

<意見・要望> 子どもの人数が増えてきたので、職員さんの人数が足りているのかわからない。

【改善目標】 配置基準、資格は満たしており問題ない。しかし、基準に関わらず安全で充実した支援を行うために必要な職員配置をすることが適切であると考えている。

③ 生活空間は本人に分かりやすい構造化された環境になっているか？また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか？

<意見・要望> 部屋の中（療育室）を見る機会が無いのでわからない。

【改善目標】 これまでも、写真やイラスト、文字を掲示してどのような児童にもわかりやすいように視覚化・構造化を進めてきたが、まだまだ不十分な状況である。今後は専門家によるコンサルテーションを受けながら、さらに構造化を進めていくなどのバリアフリー化を図っていく。

- ⑫ 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか？

<意見・要望> たまに、参観日があると良い。

【改善目標】 基本的に見学はいつでも可能であるが、活動の様子を見たいという保護者の声に応え、次年度は保護者参観日を設定したい。また、家族支援プログラムについては当事業所自身も学びを深め、ご提案できるようにしていく。

- ⑬ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか？

<意見・要望> 保護者懇談会は良かった。今後も続けて欲しい。

【改善目標】 本年度は3/10（日）に保護者懇談会を初めて実施した。次年度より利用予定のご家族にもご参加頂き、保護者同士の親睦を図ることができた。今後も定期的を開催するとともに、保護者参観や親子レクを開催して親睦の機会を増やしていきたい。

□ 事業所における自己評価結果（課題と改善目標）

- ⑭ 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。→ いいえ

改善目標：今年度、就学の対象となる児童はいなかったが、次年度以降は予定があるため取り組みを強化する。また、幼稚園や保育園への移行を促進するため、近隣や移行先の園との連携を図っていく。

- ⑮ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）の支援を行っている。→ いいえ

改善目標：今後、専門家からのコンサルテーションを受ける中で、保護者とも面談を行い支援の共通化を図っていく。また、ペアレントトレーニングについての学びを深め、保護者へご提案できるようにしていく。

- ⑯ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。→ いいえ

改善目標：連絡帳のやり取りや、送迎時等に随時お話しをしているが、定期的に行ってはいない。今後は、ペアレントトレーニング等と併せて定期的に懇談の機会を設けたい。

④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。

→いいえ

改善目標：小規模な施設であるため、近隣を巻き込んだ大きな行事等は実施をする予定は無いが、インフォーマルな地域の社会資源ともつながりを持ちながら運営にあたりたい。

④④ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。

→いいえ

改善目標：現在、対応となる児童がいない。今後、対象児がでた場合にはきちんと対応をしていきたい。

以上

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：平成30年4月/日

事業所名 児童発達支援 キスウラ7 コットン

保護者等数（児童数） 6 回収数 6 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4	2			人数が増えていると少し狭いのではないかと。	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	3	3			人数が増えているため足りていないかと。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	2		1	部屋の中を見る機会が少ないと。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4			2		
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	5	1				
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3	2		1		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	6					
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6					
保護者 への説明 等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5	1				
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	3	1		2		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	0	3		3	手紙の参考資料があると良い。	

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理 解ができているか	6				
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に 関する助言等の支援が行われているか	3	3			
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援され ているか	5	1			保護者懇親会は 今後もうけて 欲しい
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについ て、対応の体制が整備されているとともに、子 どもや保護者に周知・説明され、相談や申入 れをした際に迅速かつ適切に対応されている か	6				
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達 のための配慮がなされているか	6				
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概 要や行事予定、連絡体制等の情報や業務 に関する自己評価の結果を子どもや保護者 に対して発信されているか	5			1	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	5	1			
非常時等の 対応	㉑	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周 知・説明されているか。また、発生を想定した 訓練が実施されているか	4	1		1	
	㉒	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出、その他必要な訓練が行われているか	3	2		1	
満足度	㉓	子どもは通所を楽しみにしているか	6				
	㉔	事業所の支援に満足しているか	5	1			

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果（公表）

別紙3

公表：平成31年4月/日

事業所名 児童発達支援 キッズクラブコソゾ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	② 職員の配置数は適切である	○			
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		絵カードや写真等多用している	自閉症児に向けて構造化をすすめる
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		職員会議での情報共有	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者会等での開示	可能な限り保護者の意向を汲み取る
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページ上で公表済み
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		他団体によるコンサルテーション	コンサルテーション指摘事項の確実な実施
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		職員研修実施	
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			子どもと保護者のニーズ把握と課題分析を（こひ）で行う
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		NCアセスメント導入	他のアセスメントも検討する
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			地域支援の具体性が不十分であり、検討する。

⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		月度計画立案	
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		多方面からの情報集収	
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		随時、情報の共有を行っている	遠地等では不在の職員にも伝達する。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼の実施と記録の確認	
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎日全児童の記録をとる	記録の閲覧による情報共有の徹底
⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発管への参画している	保育士の参画もできる限り行う。
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/	/		
㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/	/		
㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			ニーズが増加しており今後の重点項目になる
㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		今後、必要に応じて行うつもり。
㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		専門家によるコンサルの実施	他団体からのコンサルテーションを推進する
㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		当法人保育所との交流保育	定期的に実施する

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携

保護者への説明責任等	㉒	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			糸島市自立支援協議会へ参加しています	
	㉓	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳の実施	相互のコミュニケーションを大切にす	
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○			即言即行で、専門的見地から支援を目的
	㉕	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				
	㉖	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○				
	㉗	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		○	随時に行っている。		定期的な例会と合わせて、検討する。
	㉘	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者懇話会を実施した。		今後定期的に保護者の懇話会等を行う。
	㉙	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○				不十分な点も多く、できる限り迅速に対応する
	㉚	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月のお便り発行		
	㉛	個人情報の取扱いに十分注意している	○				
非常時等の対応	㉜	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
	㉝	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○			
	㉞	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルを整備し、避難訓練を実施している		近年は災害が多いため、地震や水害等、様々な災害を想定し訓練を行う
	㉟	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○				
	㊀	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	○				

④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		0	対象見なし	
④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	0			出来るだけ小さなヒヤリも記録していく形にする
④	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	0		研修の実施	外部の研修も活用しながら意識を高める。
④	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	0		対象になる児童はいない	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。